

2010年 10月号
通巻 105号

発行所

岩手県盛岡市中央通3丁目8-16

電話019-651-0810

FAX019-653-1057

岩手県同胞生活相談総合センター

ハナ



歌劇団歓迎宴のひとコマ

毎月25日発行 0円 同胞生活情報誌 ハナ korea-iwate@ictnet.ne.jp

金剛山歌劇団歓迎の夕べ

9月23日『金剛山歌劇団歓迎の集い』が行われた。日朝友好国交正常化促進岩手県民会議と公演実行委員会による共同主催で催され同胞、日本人士、歌劇団メンバーらが参加した。

県民会議小原宣良会長と崔成守県本部委員長の歓迎の挨拶、李龍秀団長の答辞、乾杯そして会食と進んだ。

歌劇団によるミニコンサートが上演された。出席者からのアンコールに応えながら迫力満点のすばらしい歌と民族楽器の音色を披露してくれた。



金剛山歌劇団2010年度公演盛況裏に上演!

9月24日、「金剛山歌劇団」公演『朝鮮舞踊のシルクロード』が盛岡市民文化ホール(大ホール)にて1300人を越す観衆を集め盛況裏に行われた。

大変きびしい状況にもかかわらず、準備に携わった各機関と同胞のみなさん、そして後援・協賛していただいた各位のご協力にこころより感謝します。

来年もよろしくおねがいします。(公演実行委員会)



日・朝友好岩手県民会議総会

9月16日『日朝友好国交正常化促進岩手県民会議』年次総会が行われた。小原宣良会長以下役員と県民会議加盟の各団体代表と個人会員が参加した。

1年間の事業報告、会計報告、次年度の活動方針が討議された。

朝鮮総聯県本部崔成守委員長が招かれ最近の朝鮮半島情勢の解説とあわせて挨拶した。「高校無償化」を朝鮮高校にも適用させるための署名等の取り組みに対する謝意と引き続きの協力を要請した。



第15回強制連行犠牲者追悼式

9月14日、滝沢村アピオ内にある《強制連行犠牲者追悼碑》前にて第15回目の『追悼式』が総聯・民団同胞、日本の方々などの参加のもと行われた。

式は<追悼碑管理委員会>小原宣良事務局長の挨拶、総聯、民団各代表、県民の代表として達増知事(代読)が追悼の辞を述べ最後に参加者全員が献花を行なった。



献花をする参列者たち

日朝友好を深めるための第34回全国集会

「日朝友好親善を深めるための第34回全国『盛岡』交流集会」が4~5日、岩手県盛岡市の岩手教育会館で行われた。日朝学術教育交流協会の中村元気会長と岩教組の豊巻浩也委員長、教職同中央の趙潯柱委員長、総連岩手県本部の崔成守委員長をはじめ、各地の日本教職員と市民団体のメンバー、同胞など150余人が参加した。



集会では、日朝学術教育交流協会事務局の大石忠雄氏が基調報告、「西澤清副会長が『高校無償化制度の朝鮮高校への適用問題への取り組み』と題して特別報告を行い、東京造形大学の前田朗教授が記念講演を行った。

午後には「理論」「教育実践」「日朝友好」の3つに分かれて、分科会が行われた。第1分科では、朝大経営学部の任京河准教授が『韓国強制併合』と在日朝鮮人の権利を考えると題して講演を、第2分科では、日本の教職員たちの現場での朝鮮問題教育に関する経験について話し合われ、第3分科では神奈川、福岡、広島、福島など、朝鮮学校に支援を送る日本の教職員や市民たちの活動が紹介された。

「高校無償化」を朝鮮学校に即時適用することを求める特別決議と、アピールが採択された。

決議とアピールは日本政府に「高校無償化」の実現と国交正常化交渉の再開を促す運動に各地で取り組むことや、各自治体に外国人学校への支援を働きかけること、朝鮮学校を支援する全国的な組織作りに取り組むこと、日朝交流を広範囲で進めることなどを訴えた。

10月の予定

△還暦を迎えた同胞を祝う会

日時:10月6日(水)集合16:00 開始18:30～

会場:つなぎ温泉 愛真館

会費:16,000円

締切:9月30日 連絡先 同胞センター 姜元鎬

※ゴルフコンペ:9:30集合 10時スタート 八幡平CC

※詳細は別紙の案内をご覧ください。

△東北朝鮮初中級学校創立45周年式典

日時:10月10日(日)

会場:東北朝鮮初中級学校

13:00～ 「学校創立記念式典」

14:00～ 「同胞学生大文化祭」

16:00～ 「大祝賀宴」

△〈県南会〉

日時:10月20日(水) 14:30～

会場:未定(幹事さんにご確認ください。)

△〈ウリ信〉三陸宮古沿岸の旅

日時:10月20日(水) 8:30出発 16:00盛岡到着

参加費:3,000円

募集定員:15名

集合場所:ウリ信 岩手支店前

連絡先:ウリ信 岩手支店 TEL019-623-7321

※モーターボート(貸切)に乗っての景勝遊覧と昼食は三陸名物「海鮮丼」。

祖国の水害被害同胞支援募金にご協力を!

前号でお知らせしたように、7月から8月にかけて降った豪雨により、祖国全域で多くの被害が発生しました。

さらに9月初旬の相次ぐ二つ台風により死者や被害も増えています。

祖国の被害同胞が一日も早く安定した生活を取り戻すため、同胞愛にもとづき緊急募金運動を行なうことにしました。多くの同胞のご支援・ご協力を心からお願いする次第です。

※担当の者が同胞の各家庭を訪問し募金を募ります。

よろしく願います。

※振込みもご利用ください。

ウリ信用組合 岩手支店(普)1033813

祖国水害支援募金

ドクター カンの健康講座

第95回 インフルエンザ

急に寒くなったとはいえインフルエンザの話は少し早すぎますか。ですがあつという間に冬がやってきますし、ワクチンはどうすぐです。

しかし去年は新型インフルエンザに振り回されましたね。国内のワクチンでは足りず急きょ輸入したものの余ってしまいかなりのワクチンが廃棄される予定です。

季節型インフルエンザは重症化することがあり、特に65歳以上の高齢者や心臓や肺に基礎疾患がある人、乳幼児などではワクチンは推奨されます。

一方新型ワクチンはメキシコ・アメリカでの状況から基礎疾患のない人でも重症化するため昨年のように日本でもややパニックになり緊急の輸入ワクチンへとエスカレートしました。でしたがアメリカの1万2000人ほどの死亡者に対し日本は200人とかなり低い結果となりました。

早く医療機関を受診することや抗インフルエンザ薬を早期に服用するなど医療体制が整っていたためといわれますが結論には至ってません。

今年のワクチンは季節型と新型ワクチンの同時接種となります。一般には2種類のワクチンを接種する場合は間をあけますが同時接種により副作用が出た場合どちらのワクチンの影響か鑑別できないものの副作用は軽微であり、1回で済み、抗体が獲得できるため今年は今同時接種に決まりました。

ですがこれは日本で製造されたワクチンの場合です。又65歳以上の人は肺炎の重症化予防のためにも肺炎球菌ワクチンも是非おすすめします。

今年はどういう冬になるのでしょうか。異常な猛暑の夏ただただにすこし心配です。皆さんかぜをひかないように。

(協力:幸クリニック院長 姜幸一先生)